「長崎県南島原市」と「イオン環境財団」の取り組み

「環境負荷の軽減」を目指しパネルでの制作を無くしFSC認証紙を使用したポスターにて製作を行っております。
ミックス
FSC® C183458

植樹活動

■植樹の取り組み

「南島原イオンの里山」のエリアは、１９４６年からの開拓や１９７８年の無線送信所開発により 森の水源涵養の機能が低下し、１９９０年に無線送信所が廃止後も荒廃したままとなっていました。水源涵養機能を回復させるため、２０１０年に南島原市と当財団は植樹について覚書を調印し、植樹を実施しました。

■南島原イオンの里山

当里山は植樹から１５年が経過し、木々は大きく育ちさまざまな植物や動物が生息する森となっています。環境教育として、炭素蓄積量調査やタケノコ堀りをはじめとした森林学習、さらには 星空観察会などを実施してきました。２０２５年は、３００名の地域ボランティアの皆さまと、間伐や枝打ちなど木々の成長を更に促す育樹活動を実施しました。

2011年

2025年

イオンの里山での環境学習

イオン環境財団では、２０２０年度より、イオンの里山を活用した環境学習として、地域の小学生が参加する、森の炭素蓄積量調査を実施しています。児童は事前学習を経て、リモートセンシング技術で特定した木の高さや幹の太さを実測して記録し、この結果を元に森の炭素蓄積量が算出されます。

※リモートセンシングとは、人工衛星などに搭載した観測機器（センサ）を使い、離れた位置から地球表面などを 観測する最先端の技術で、植生、土壌や大気の水分量、地表や海面の温度、地表面の変位など地球環境を把握する ためのさまざまな情報を得ることができます。

今回の環境学習を通じて、環境のために南島原イオンの里山に木が植えられていることを知り、木は二酸化炭素を吸う働きや、土砂災害を防ぐ 働きがあると聞いて、木を切らないでほしいと思いました。鉛筆や紙など環境のことを考えて使おうと思います。
（2022年10月）

「長崎県南島原市」のご紹介

「環境負荷の軽減」を目指しパネルでの制作を無くしFSC認証紙を使用したポスターにて製作を行っております。
FSC® C183458

南島原市みんなの森守協議会活動

平成22年3月26日、南島原植樹を実施するにあたり、市内企業や森づくり団体、ＮＰＯ団体、漁協、教育団体など、市内の38団体により、「南島原市みんなの森守実行委員会（現協議会）」が設立されました。

南島原市みんなの森守協議会のみなさん

■春のタケノコ堀り体験

「南島原イオンの里山」では春に小学生を対象に森林環境学習としてタケノコ堀り体験を開催しています。

■夏の親子キャンプ･キャンプ場の整備ボランティア

例年7月に親子で楽しめるキャンプを開催。キャンプ開催に伴い、キャンプ場やトイレの整備も行いました。

■下草刈りボランティア

南島原市みんなの森守協議会のボランティア会員による下草刈りと、市からの業者委託による下草刈りを実施。多くの皆様の協力により、植樹した木々が大きく育っています。

■秋の栗拾い

秋の森林環境体験学習として、栗拾いと栗ご飯づくりを実施。植樹した山栗が収穫できるようになりました。

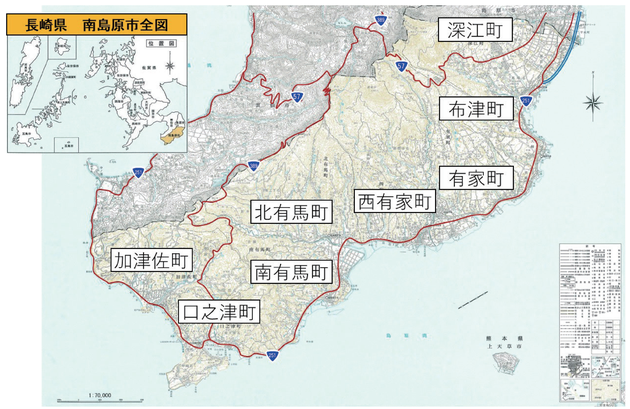
■星空観察会

2021年より冬の森林環境体験学習として開催。山頂から星空を観察し、流星が観測されることもあります。

■早稲田大学との提携

早稲田大学AEON TOWAリサーチセンター主催の里山シンポジウムに参加しました。

南島原市のご紹介



平成18年3月に８町が合併して誕生。（面積：約170㎢）。
島原半島の４割を占める、気候温暖で日照時間に恵まれている農業に適した地域です。

市の花 ひまわり

南島原市のキャッチフレーズ「南向きに生きよう！」を連想しやすい

全国第2位の生産量を誇る「島原手延そうめん」

●全国の手延そうめんの約30%を製造

長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産「原城跡」

●2018年7月 世界文化遺産へ登録

- 大浦天主堂
- 平戸の聖地と集落
- 野崎島の集落跡
- 外海の出津集落
- 奈留島の江上集落
- 頭ヶ島の集落
- 外海の大野集落
- 久賀島の集落
- 天草の崎津集落
- 黒島の集落
- **原城跡**

南島原市 原城跡